

品質証明 (SDS)

作成：2006年6月10日
改訂：2025年3月13日

1. 化学物質等及び会社情報



会社名 株式会社 創建
住所 東京都豊島区西池袋1-11-1
メトロポリタンプラザビル17F
担当部門 開発部 F A X 番号 03-5992-6423
電話番号 03-5992-9231 緊急連絡先 03-5992-9231
推奨用途 接着剤
使用上の制限 接着剤

MaterialsID 147

製品名：P ボンド

※シックハウス対策について

上記の製品はF☆☆☆☆です。（「16. その他の情報」参照）

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

健康に対する有害性 : 急性毒性（吸入：粉塵ミスト） 区分4
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2
皮膚感作性 区分1
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

【GHSラベル要素】

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

: 警告
: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
: 強い眼刺激 (H319)
: 吸入すると有害 (H332)

注意書き

安全対策

: 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。（P261）
: 取扱後は製造業者、供給者又は所管官庁が指定する取扱い後に洗浄する体の部分をよく洗うこと。（P264）
: 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。（P271）
: 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。（P272）
: 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。（P280）

応急措置

: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。（P312）
: 特別な処置が必要である。（P321）
: 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。（P302+P352）
: 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。（P304+P340）
: 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。（P305+P351+P338）
: 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。（P333+P313）
: 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。（P337+P313）
: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。（P362+P364）
: 情報なし
: 内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。（P501）

保管

廃棄

3. 組成及び成分情報

単一化合物・混合物の区別

: 混合物

化学名又は一般名

: 変成シリコーン樹脂系接着剤

成分名	含有率 (%)	CAS RN [®]	官報公示整理番号		
			化審法	安衛法	化管法
変成シリコーン樹脂	20-30	非開示	非開示	非開示	対象外
二酸化チタン	1-5	13463-67-7	対象外	2-(3)-509	対象外
すず及びその化合物	<1	1067-55-6	非開示	非開示	対象外

4. 応急措置

吸入した場合

: 吸入して、かゆみ等の異常が生じた場合は速やかに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に努め速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

: 付着物を拭き取り、中性石鹸を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た時は医師の診断を受ける。（汚染された衣服や靴は脱ぐ）

上記の内容に相違ないことを証明致します。



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-11-1
メトロポリタンプラザビル17F
TEL 03-5992-6411(代) FAX 03-5992-6422

- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼し、痛みが残る場合は眼科医の診断を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。水で口の中を洗浄してもよい。被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置
- 適切な消火剤 : 粉末・炭酸ガス・泡。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 付近の着火源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。消火に際しては、保護衣を着用するほか、状況によっては保護手袋、保護マスク等を着用する。

6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏出した場所の周辺にロープを張り、人の立ち入りを禁止する。作業の際は必ず保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 大量の場合は、流出した接着剤の流出を土砂、土のう等で防止する。廃棄は『廃棄上の注意』の項による。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合は、紙や布で拭き取る。大量の場合は、火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となる物を速やかに取り除き、消火器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い
- 技術的対策 : 火気厳禁。溶剤による希釈や品種の異なる接着剤との併用及び混合はしない。使用時及び取扱い箇所には、『火気厳禁』及び『立入禁止』の表示を行う。一度開封した接着剤は、できるだけ早く使い切る。使い残した場合は密封して保管する。使用箇所及び貼付け材料は、容器の表示を確認し使用する。『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 現場施工用接着剤です。取り扱い場所及び作業箇所は換気を行ない、施工後も接着剤が硬化するまで、通常の換気（日常生活の程度、朝夕1～2時間）を行なう。
- 接触回避衛生対策 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。使用時は目・皮膚等への接触を避けるため適切な保護具（手袋・長靴・保護マスク等）を着用する。作業中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を中止し必要に応じて医師の診察を受ける。身体や衣服に付いた時は、速やかに石鹸水等で洗い落とす。
- 保管
- 安全な保管条件 : 貯蔵箇所は火気厳禁の表示を行い、『消防法』に従い貯蔵する。直射日光を避け、容器を密閉して5℃～35℃の環境で子供の手の届かない屋内に場所を定めて保管する。誤飲防止と食品への混入を避けるため、保管場所は食品と区別する。消防法・労働安全衛生法等の法令に従う。取扱い後・休憩前は手洗い、うがい、洗顔等を行う。食品への混入を避ける為、食品容器、給餌器等には使用できません。使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託する。河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流入させない。使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。
- 安全な容器包装材料 : 情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 / 許容濃度 / 濃度基準値

化学名	管理濃度	産業衛生学会	ACGIH	濃度基準値
変成シリコーン樹脂	-	-	-	-
二酸化チタン	-	0.3mg/m3	-	-
すず及びその化合物	-	-	-	-

設備対策 : 局所排気装置又は、自然換気等の換気を行う。

保護具

呼吸用保護具 : 保護マスクを着用する。

手の保護具 : 不透水性保護手袋（ポリエチレン・ゴム製等）を着用する。

眼、顔面の保護具 : 保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: マスチック	分解温度	: 情報なし
色	: 白色	pH	: 情報なし
臭い	: 特異臭	動粘性率	: 情報なし
融点/凝固点	: 情報なし	溶解度	: 水に不溶
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 情報なし	n-オクタノール/水分係数 (log値)	: 情報なし
可燃性	: 情報なし	蒸気圧	: 情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 情報なし	密度及び/又は相対密度	: 1.40-1.60g/cm3 (23℃)
引火点	: 情報なし	相対ガス密度	: 情報なし
自然発火点	: 情報なし	粒子特性	: 情報なし

上記の内容に相違ないことを証明致します。



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-11-1
 メトロポリタンプラザビル17F
 TEL 03-5992-6411(代) FAX 03-5992-6422

10. 安定性及び反応性

反応性 : 水、空気中の湿気と反応する。
化学的安定性 : 法規制に従った保管および取扱いにおいて安定と考えられる。
危険有害反応可能性 : 法規制に従った保管および取扱いにおいて安定と考えられる。
避けるべき条件 : 加熱、高温、スパーク、裸火。
混触危険物質 : 特になし
危険有害な分解生成物 : 燃焼により一酸化炭素が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性(経口) : 情報なし
急性毒性(経皮) : 情報なし
急性毒性(気体) : 情報なし
急性毒性(蒸気) : 情報なし
皮膚腐食性/刺激性 : 情報なし
呼吸器感作性 : 情報なし
生殖細胞変異原性 : 情報なし
発がん性 : 情報なし
生殖毒性/授乳への影響 : 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 情報なし
誤えん有害性 : 情報なし
慢性毒性 : 現在のところ知見なし。
催奇形性 : 現在のところ知見なし。
容器表示項目 : 『可燃性あり』『有害性あり』
警告表示 : 『火気厳禁』『吸入注意』
禁止・注意 : 『火気厳禁』『吸入注意』

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性) : 情報なし
水生環境有害性 長期(慢性) : 情報なし
オゾン層有害性 : 情報なし
生態毒性 : 情報なし
残留性・分解性 : 情報なし
生体蓄積性 : 情報なし
土壤中の移動性 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装 : 情報なし

14. 輸送上の注意

国連番号 : 該当しない
品名(国連輸送名) : 該当しない
国連分類 : 該当しない
容器等級 : 該当しない
海洋汚染物質 : 非該当
MARPOL 73/78 附属書 II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質 : 非該当
輸送又は輸送手段に関する特別な安全対策 : 可燃性を有しているため火気厳禁。容器に漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように取り扱い、荷崩れの防止を確実に。
国内規制
陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等の規定に従う。
海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。
航空輸送 : 航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号 : 該当しない

15. 適用法令

消防法 : 指定可燃物 可燃性固体類
化学物質排出把握管理促進法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物(労働安全衛生法施行令第18条の2 別表第9の191 二酸化チタン)
二酸化チタン 2025年4月1日施行)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(労働安全衛生法施行令第18条の2 別表第9の222 すす及びその化合物)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(労働安全衛生法施行令第18条の2 別表第9の15 すす及びその化合物 2025年4月1日施行)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(労働安全衛生法施行令第18条 別表第9の191 二酸化チタン)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(労働安全衛生法施行令第18条 安衛則別表第2の623 二酸化チタン 2025年4月1日施行)
化審法 : 非該当
海洋汚染防止法 : 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
有害でない物質(施行令別表第1の2)
外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令別表第1の16の項
じん肺法 : 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法) : 産業廃棄物(法第2条第4項)

上記の内容に相違ないことを証明致します。



株式会社



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-1-1
メトロポリタンプラザビル17F
TEL 03-5992-6411(代) FAX 03-5992-6422

16. その他の情報

JIS A 5538 『壁・天井ボード用接着剤』 JTCCM 認定番号：TC0408015 F☆☆☆☆

※本製品（Pボンド）にはアスベスト、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン、テトラデカン、クロルピリホス、フェノブカルブ、ダイアジノン、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、フタル酸ジ-n-ブチル、ノナールは含んでおりません。

建材からのVOC放散速度基準（日本接着剤工業会） 4VOC基準適合 JAIA-501693

ホルムアルデヒド基準（日本接着剤工業会） 室内空気質汚染対策のための自主管理規定 JAIA-010376 F☆☆☆☆

この「安全データシート」は、当社の製品を適正にご使用頂くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の使用を対象としたものです。

本製品の使用方法については、この「安全データシート」をご参照の上、使用者の責任においてお決め下さい。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の含有量が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

ここに記載された内容は当社所有の情報によるものですが、情報の完全さを保証するものではありません。

又、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。

記載内容のうち、成分及び含有量、物理化学的物質などの値は、品質保証値ではありません。

ここに記載された内容は情報提供であって、いかなる保証をするものではありません。

上記の内容に相違ないことを証明致します。



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-11-1
メトロポリタンプラザビル17F
TEL 03-5992-6411(代) FAX 03-5992-6422